

アマミマルケシゲンゴロウ

Hydrovatus seminarius

兵庫県：要調査

環境省：準絶滅危惧(NT)

種の概要

体長2.3～2.4mm。体色は暗褐色で目立った斑紋はない。池沼の浅瀬や放棄水田など植生のある止水域に生息する。産地はきわめて局地的。



写真提供：森正人

国内分布

本州、南西諸島

県内分布記録

神戸市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
				○	○

特記事項

新規追加種

本種は奄美大島など南西諸島だけに分布すると思われていたが、岡田ほか(2020)によって和歌山県内から発見され、併せて兵庫県内からも標本が確認された。

保護上の留意点

池沼、湿地環境の保全